

経済・金融 フラッシュ

中国経済:14年10月の製造業PMI は50.8%と7月をピークに鈍化傾向

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

10月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は50.8%と前月と比べて0.3%ポイント低下し、景気の勢いが7月（51.7%）をピークにして鈍化傾向にあることを確認する結果となった。なお、拡張・収縮の分岐点となる50%は25ヵ月連続で上回っている。企業規模別では、大型企業は51.9%と高水準を維持したものの中小型企业は50%割れとなった。生産経営活動予想指数は依然50%を上回っているが、今年1月以来の低水準に落ち込んでおり、新規受注指数の落ち込みも大きいことから、製造業PMIは今後も暫くは冴えない動きになると思われる。

【10月の総合指数は0.3%ポイント低下】

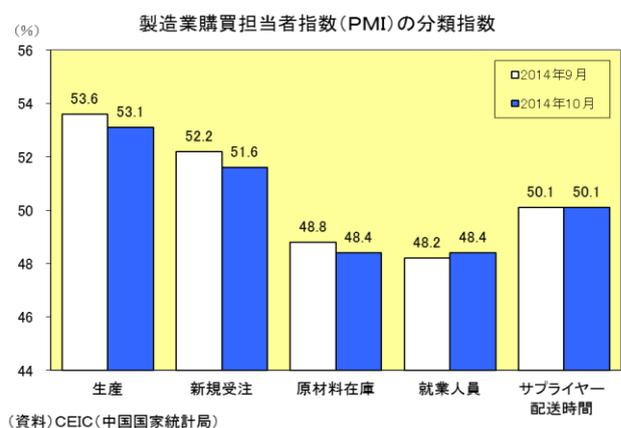
11月1日（土）、中国の国家統計局サービス業調査センターと物流購買連合会は2014年10月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。総合指数は50.8%と前月と比べて0.3%ポイント低下し、景気の勢いが7月（51.7%）をピークにして鈍化傾向にあることを確認する結果となった。なお、拡張・収縮の分岐点となる50%は25ヵ月連続で上回っている（図表-1）。

総合指数を構成する5つの分類指数を見ると、生産指数が前月より0.5%ポイントの悪化、新規受注指数が0.6%ポイントの悪化、原材料在庫指数が0.4%ポイントの悪化となった。寄与度でみると、加重割合が30%と最大の新規受注指数が0.18%ポイントのマイナス寄与、同25%の生産指数も0.13%ポイントのマイナス寄与となり、総合指数を押し下げる主因となった。なお、サプライヤー配送時間指数（逆指数）は横這い、就業人員指数は0.2%ポイントの改善だった（図表-2）。

(図表-1)



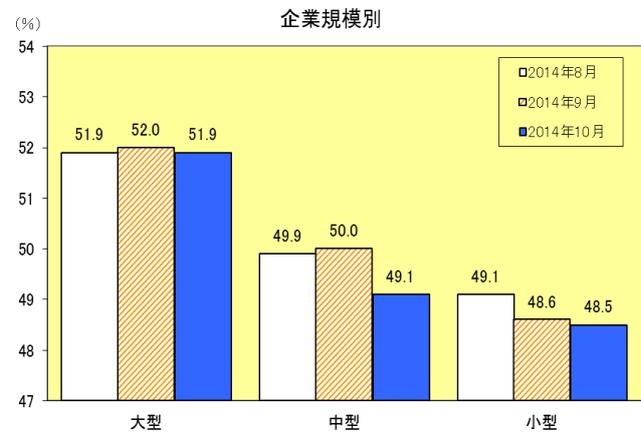
(図表-2)



【 大型は堅調も、中小型は 50%割れ 】

企業規模別に見ると、大型企業が 51.9%で前月より 0.1%ポイントの悪化、中型企業が 49.1%で 0.9%ポイントの悪化、小型企業が 48.5%で 0.1%ポイントの悪化だった。大型企業の悪化は小幅で水準的にも拡張・収縮の分岐点となる 50%を大きく上回っているものの、中型企業は大幅悪化して 50%を再び下回ったほか、小型企業も 3 ヶ月連続で 50%を下回っている。中国政府及び人民銀行はこれまでも小型企業を金融面で支援する姿勢を示してきているが、今後もその支援策は強化される方向となると思われる (図表-3)。

(図表-3)

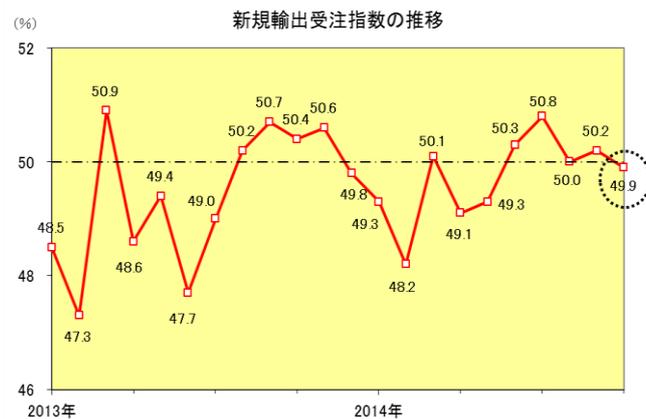


(資料) CEIC (中国国家統計局)

【 新規輸出受注は 49.9%と 50%割れ 】

また、輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数は 49.9%で前月より 0.3%ポイント悪化、拡張・収縮の分岐点となる 50%を 5 ヶ月ぶりに下回る結果となった (図表-4)。中国の輸出は 9 月に前年同月比 15.3%増とその勢いを増してきていたが、10 月の輸出には陰りが見える可能性が浮上してきている。11 月 8 日 (土) の発表が注目される。

(図表-4)

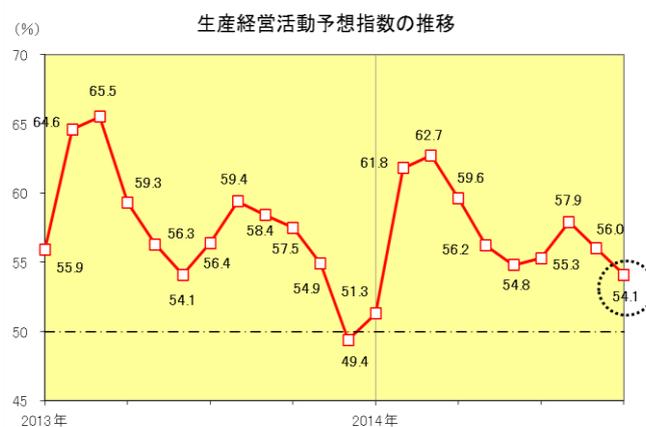


(資料) CEIC (中国国家統計局)

【 予想指数は 1 月以来の低水準 】

一方、今後 3 ヶ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数は 54.1%と、前月より 1.9%ポイントの大幅悪化となった (図表-5)。依然として拡張・収縮の分岐点となる 50%を十分に上回る水準ではあるものの、2 ヶ月連続の大幅悪化で 6 月の水準 (54.8%) を下回る水準まで落ち込んできた。前述の通り新規受注指数の落ち込みも大きく、3 ヶ月連続の大幅悪化となっていることから、製造業 PMI は今後も暫くは冴えない動きになるとと思われる。

(図表-5)



(資料) CEIC (中国国家統計局)

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。